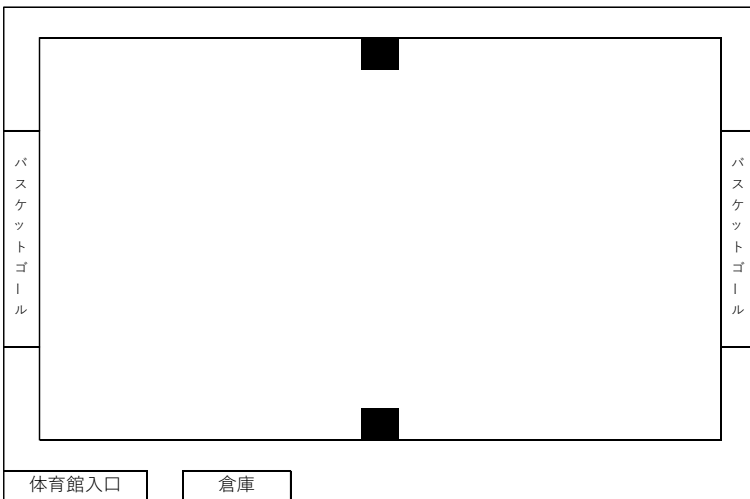


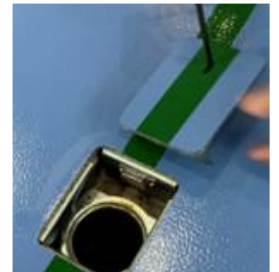
1. 必要な物 (ネット・ポール2本・ハンドル・ポール差込口を開ける棒・ポールクッション2つ)



2. ポールを立てられる位置



棒を差し込んでカバーをはがします。



※黒■の位置に「1. 必要な物」の写真にあるようなポール穴があります。

3. ポールの立て方

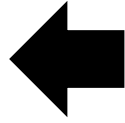


←ネットの紐を固定するための引っかけが外側を向くようにする。

紐を巻くためのリールが外側を向くようにする。→



#### 4. ハンドルの付け方



ポールに付属のハンドル差込口にハンドルを差込みます。

#### 5. ネットの付け方



①ハンドルがない方のポールに、ネットの紐を引っ掛けます。



②ハンドル側の紐に結び目を作り、リールに引っ掛けます。



③ハンドルを回してえんじ色の紐を巻きとることでネットを張ります。

④えんじ色の紐を張ったのち、白色の紐を適宜ポールに張らせて設置完了。

#### 6. ポールにクッションを巻いて完成



ベルトで固定。



完成図

EKD751

## バレー支柱アルミ7



※SG基準品

この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。間違った取り扱いや不適切な取扱いは、重大な事故につながる恐れがあります。管理責任者を定め、お読みになった本取扱説明書は管理責任者が必ず保管し、必要なときにお読みください。

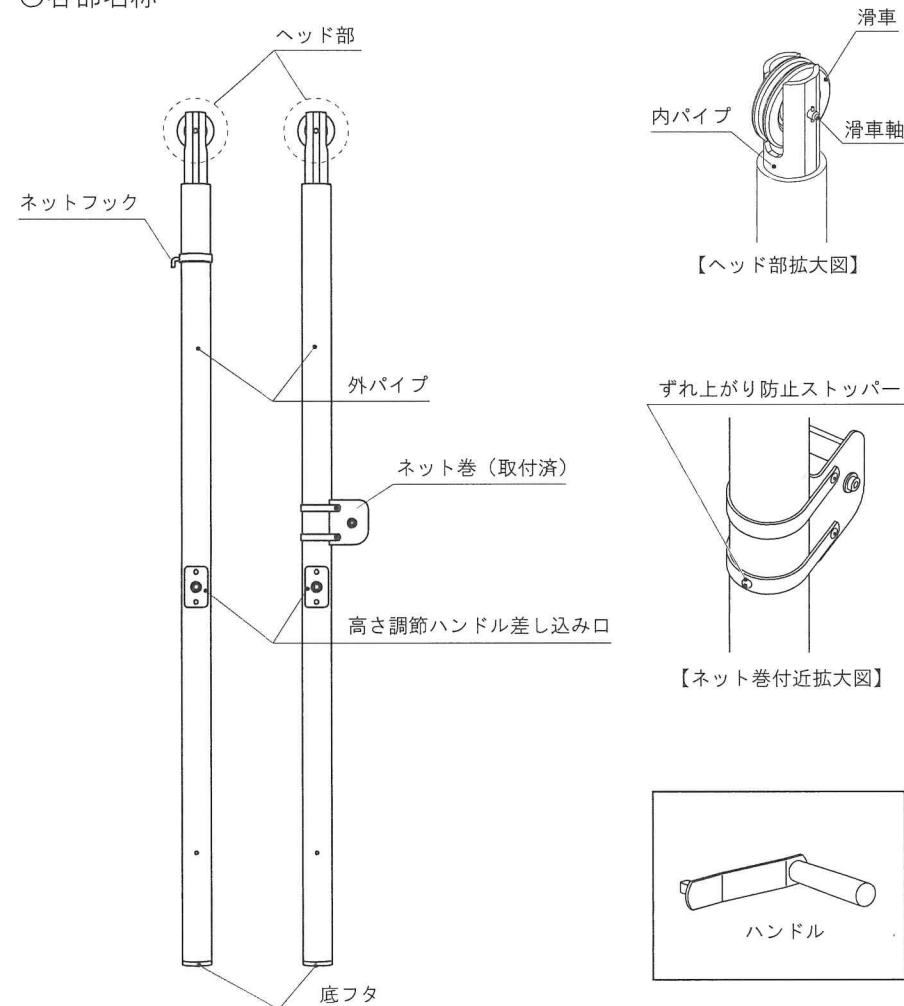
### △ 使用上のご注意

- 本製品は屋内用のバレー用ネット支柱です。本来の目的以外には絶対に使用しないでください。
- 児童・生徒等に使用させる場合は、管理責任者（先生・指導者）の適切な指導のもとでご使用ください。
- 使用前に本製品を点検し、異状があれば直ちに使用を中止し購入先または弊社へ連絡し、修理又は交換等の適切な処置を行ってください。また、ボルトの緩みや滑車の回転がスムーズでない場合は使用を中止してボルトの増し締め、回転部の点検を行ってください。そのまま使用していると破損及び事故等発生の原因になります。
- 重量が大きいので、2人以上で運搬・設置してください。また、扉や壁に当たらないように周囲の安全を確認してください。
- 乱暴な取扱いはけがを伴う恐れがあり、危険ですのでおやめください。
- ご使用の際は安全のため、バレー支柱緩衝マットを別途用意し、装着してご使用ください。
- 支柱（ネット巻を除く）の可動部・回転部には定期的に潤滑油を注油してください。
- ハンドルや埋設管（埋筒）の上蓋は無くさないよう保管してください。
- 長期間ネットを張った状態で放置しないでください。
- 支柱の内パイプの高さを下げるときは、指等を挟まないよう充分ご注意ください。
- 支柱を抜いた後はけがの予防や異物混入を避けるため、埋設管（埋筒）には必ず上蓋を被せてください。
- 器具の故障の原因となりますので、ネットを張った状態での高さ調節は絶対におやめください。
- ネットを張った状態でワイヤー（ロープ）やネットにぶら下がったりしないでください。
- ネットを張る際は、使用するネット・ワイヤー（ロープ）の点検を必ず行ってからワイヤー（ロープ）が正しくセットされたか確認し、滑車溝の中心がワイヤー（ロープ）と一直線になるように合わせてから、ネット巻を操作してネットを適切な張り具合で張ってください。
- 巻き取り中に支柱が著しく傾いたり変形してきた場合や、ワイヤー（ロープ）が切れ始めたときは直ちに巻き取りを中止し管理責任者に報告してください。万一の事故防止のため、ハンドル操作中は支柱に絶対顔を近づけないでください。
- ハンドル操作は手動を限度とし、足や補助具を添えた操作は絶対にしてしないでください。
- ネット巻の取付ボルトが緩んだ場合は、ずれ上がり防止ストッパーの位置に合わせて増し締めしてください。また、新規にネット巻を購入されて取り付ける際も、ずれ上がり防止ストッパーの位置に合わせてください。

### △ 保管上のご注意

- 移動する時以外は、支柱用ラックに保管してください。
- 湿気の多い所や直射日光のあたる場所、ほこりの多い所には保管しないでください。変色・破損の原因になります。
- 熱源や火気の近くには保管しないでください。変質・変形・破損等の原因になります。
- 本体が汚れた場合は乾いた布等で拭いてください。本体の汚れがひどいときは台所用中性洗剤を薄めた溶液を、柔らかい布に染み込ませてよく絞り、軽く拭きそのあとに乾拭きしてください。
- 塗装部に剥れ・サビがあれば早期に油性ペイントで補修してください。
- 揮発性溶剤（ベンジン・シンナー・ガソリン等）の使用はおやめください。
- 支柱の内パイプを伸ばしたままでの保管はおやめください。必ず最低の高さにした状態で支柱ラックに保管してください。また、支柱本体に重いものを載せたり、立て掛けての保管は危険ですのでおやめください。
- 定期的に本取扱説明書と同封されている安全点検表に基づき、点検を行ってください。異状が確認された場合は直ちに使用を中止し、購入先または弊社へ連絡し、修理または交換等の適切な処置を行ってください。
- 本製品は使用上の経過で、変色・変質・劣化・破損等することがございます。
- 標準耐用年数は3年、高さ調節器具は3年、支柱・滑車・滑車軸・ネット巻は2年ですが、使用状況使用環境で異なります。標準耐用年数は『スポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き：（公財）日本体育施設協会』から引用しています。

## ○各部名称



発売元：株式会社 エバニュー

お気付きの点並びにご不明な点は、購入先または弊社へお問い合わせください。

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-6-35 イーストスクエア東京ビル 6F

○お問い合わせ先  
 東京 TEL. 03-3649-6236 FAX. 03-5683-5946  
 大阪 TEL. 06-6762-2431 FAX. 06-6762-2425  
 e-mail: a-f@evernew.co.jp

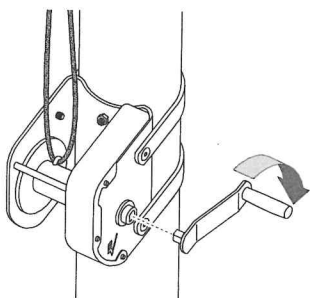
※無断転載禁止  
 ※本書のイラストや図は、実際の商品と異なる場合があります。  
 ※製品の改良等によって、本書の内容の一部、製品と合致しない箇所が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

## ○使用方法

△ 持ち運びや設置の際は、2人以上の充分保持できる人数で周囲の安全を確かめて行ってください。

1. 埋設管(埋筒)の上蓋を外して中に異物がないかを確認してください。設置する際は埋設管付近で一度立たせてから落下させないようにゆっくりと挿入してください。この際、指などを挟まないよう支柱の凸部分に充分ご注意ください。
2. ネット巻の付いていない支柱の滑車にワイヤー(ロープ)を掛けて、ワイヤー(ロープ) 端部をネットフックに掛けます。
3. ネット巻の付いている支柱の滑車にワイヤー(ロープ)を掛けて、ワイヤー(ロープ) 端部をネット巻に巻きつけた状態から、ハンドルの先を高さ調節ハンドル差込口に入れ、両支柱の高さ設定を行ってください。(図1参照)  
△ 高さ 243 cm を超えて操作しないでください。昇降装置の故障原因となります。
4. ハンドルの先を巻取器に戻し、時計回りに回してネットを張ってください。ハンドルを止めればその位置でブレーキがかかり止まります。  
※反時計回りに回した場合ストッパーが効かないので注意してください。  
※強く巻き過ぎますと巻き戻し操作が出来なくなることがあります。戻らない場合は、強い力で戻し操作を行ってください。
5. 左右支柱の滑車溝の中心とワイヤー(ロープ)が一直線になるように合わせ(図2参照)、ネット巻を片手で操作してネットを張ります。両手や足での操作は行わないでください。適切な張り具合になりましたらハンドルを外してください。  
ネット巻の使用方法については下図をご参照ください。  
※ハンドルはなくさないように保管してください。  
※ネット巻操作はネット巻の正面に立って行わないでください。ワイヤー(ロープ)が切れたり滑車から外れて飛び出したりした支柱が急に戻り、けがをする恐れがあります。(図3参照)
6. 使用後はネットの張りを緩めてワイヤー(ロープ)を外し、支柱の高さを設定されている最低の高さまでゆっくり戻しその後支柱を埋設管から引き抜いて保管してください。  
※ワイヤー(ロープ)を外す際は、ワイヤー(ロープ)に大きな力がかかっているので十分注意してください。
7. 支柱を抜いた後はけがの予防や異物の混入を避けるため、埋設管に必ず上蓋を被せてください。

### 【ネット巻使用方法】



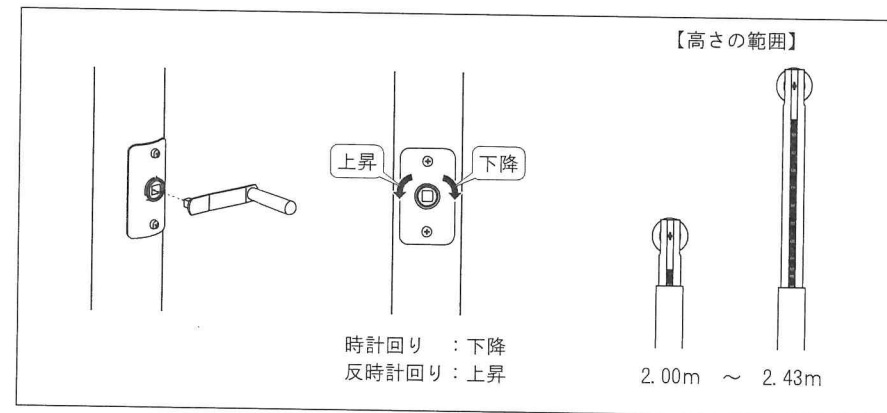
#### 巻取

1. ワイヤー(ロープ)の端部を輪の状態にし、ドラムのフックに掛けます。
2. ハンドルを時計回りに回し、ワイヤー(ロープ)が絡まないよう巻き取ってください。

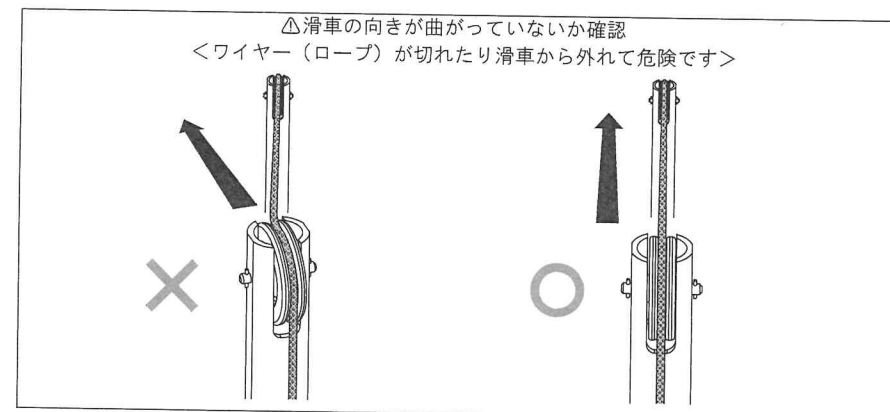
#### 戻し

1. しっかりとハンドルを持ち、反時計回りに回してください。

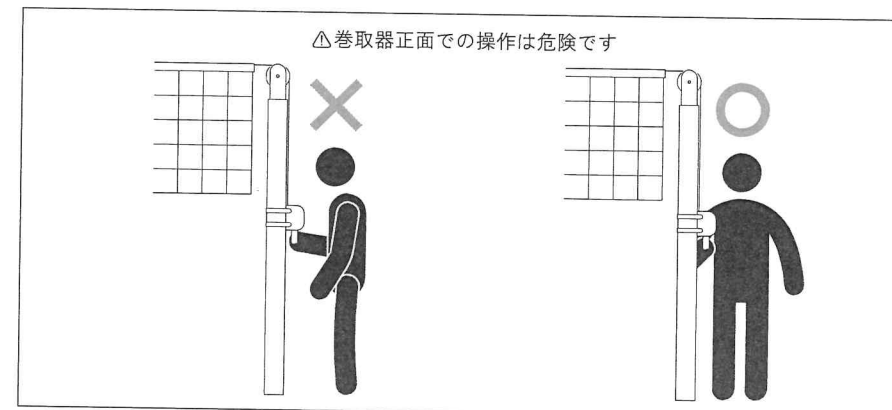
△ ネットのワイヤー(ロープ)をネット巻取器から外すとき、ワイヤー(ロープ)が突然飛び出してくることがあります。注意してゆっくりと行ってください。



【図1】



【図2】



【図3】